



鬼怒川と田川の合流点に

久保田水門 が完成しました

問 市土木課 TEL 34-0426

11月8日に完成式典を開催

鬼怒川と田川の合流点に久保田水門が完成し、11月8日に多くの来賓の参列のもと、完成式典が開催されました。当日は、結城東中学校吹奏楽部や地元お囃子会による演奏、招待者向けの見学会などが行われました。

平成27年9月 関東・東北豪雨被害から

平成27年9月の関東・東北豪雨では、鬼怒川の水位上昇に伴い、鬼怒川から田川への逆流が発生したことなどにより、結城市と筑西市の田川沿いで213戸もの浸水被害がありました。

市では、鬼怒川と田川が一体となった河川整備について、国と県へ要望し、令和3年9月から久保田水門の整備工事が着手されました。



■ 水門工事の様子



久保田水門の役割と防災への意識

久保田水門の完成により鬼怒川の水位上昇による田川への逆流による浸水被害を防ぐことが可能となり、安全性の向上が図られることになります。

引き続き、堤防の嵩上げなど、県による田川の改修工事が着実に進められることにより、さらに安全性が高まります。

しかしながら、異常気象による大規模な自然災害は、想定外のことが起こり得るため、避難行動計画を作成するなど、日頃からの災害への備えが大切です。



第17回 きものday結城

晩 秋の11月8日・9日、北部市街地を会場に「第17回 きものday結城」が開催されました。

会場では、着物姿の参加者がまち並みを華やかに彩り、着物でのまち歩きをはじめ、お寺でランチ、結城紬の羽織体験や人力車乗車体験など日常ではなかなか味わえない体験に、桐箱朝市やスタンプラリー、結城謎解き物語など子どもから大人まで楽しめる企画も行われ、来場者は思い思いに秋の結城を楽しみました。

また、8日には女優の羽田美智子さんをゲストに迎えた「satonoka『田舎で暮らそう』トークショー」(ケーブルテレビ株式会社/日本デジタル配信株式会社主催)を開催。「移住者が語る“暮らしの変化と結城の未来”」をテーマに、小林市長や移住関係者の皆さんもパネラーとして参加し、地方移住の魅力や結城市での暮らしについて語り合いました。

羽田さんには、同日に行われた本場結城紬の反物などが当たる抽選会のプレゼンターを務めていただき、会場を大いに盛り上げていただきました。

このイベントを通じて、地場産業である結城紬の魅力を発信するとともに、結城らしさを改めて感じられる2日間となりました。



イベントに合わせて、北部市街地でグリーンローモビリティ(時速20km未満で公道を走行できる電動車両を用いた小さな移動サービス)の実証運行を行いました。

問 市商工観光課 TEL 34-0420